

学校図書館支援センター通信 NO.74

2月号

平成25年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



学校図書館研修会・ネットワーク会議3

1月21日（火）に、今年度最後の学校図書館研修会・ネットワーク会議が開かれました。

今回は、文部科学省委託研究協力校の新井小学校による研究発表、教育センターからの今年度の研究について及び中央図書館、文学ミュージアムからの連絡とシステムの変更に関する説明を行いました。

また、幼稚園の担当者の方々に対しては、幼稚園での図書活用の推進を図るために、中央図書館の司書による個別の説明会を行いました。市内の公立幼稚園では、園児が就学前の段階から多くの図書に触れ合う機会を設けています。市川市の図書館ネットワークシステムを活用することで、自園以外からもたくさんの図書を集めることができますので、ぜひ積極的に活用していただきたいと思います。

新井小学校「学校図書館の有効な活用」についての取り組み

新井小学校は、今年から学校図書館支援センター事業の文部科学省委託研究協力校の指定を受け、学校図書館の有効活用について研究を推進してきました。

まず始めに研究主任より、新井小学校では「自ら学び、考え、生き生きと表現する児童の育成」を研究テーマに掲げて、国語科・社会科を中心に「思考力・表現力の育成」を図るために、学校図書館が活用されていると説明されました。

次に司書教諭より図書館運営や年間を通じて実施されている図書行事について、写真を提示しながら詳細な説明がありました。

最後に授業実践者より「大造じいさんとがん～ライブラリーナビを作ろう～」と「自動車をつくる工場」の実践が報告されました。

学校司書によるパワーポイント操作に合わせて、3人のリレー形式で年間を通した学校図書館の取組みを分かりやすく説明され、参加者からは「自校の実践に取り入れたい」という感想が多く寄せられました。

新井小学校の発表用パワーポイントはPDFファイル形式で市内共有フォルダの平成25年度学校図書館の中にありますので、自校で実践する際にはぜひ参考にしてください。

また、協力校（塩焼小学校、新井小学校、第七中学校）3校の実践は、教育センターの研究紀要にまとめ、各学校に配付いたしますのでこちらもご活用ください。

アンケート結果について

教育センターからの発表の中で行いました、「学校図書館担当職員に関するアンケート」の結果については、研究紀要の中に掲載いたします。



新井小学校発表の様子

図書館の窓から

～ひろげよう・図書館の輪・リレー執筆～

福栄小学校では、毎年、読書旬間のオープニングイベントの中で、テーマに沿った全校群読をしています。言葉をテーマにした時は、「きりなしうた（谷川俊太郎・作）」で、お母さん役を低学年に、子ども役を高学年にして掛け合いのように詩を語りました。宇宙がテーマの時は、「星めぐりの歌（宮澤賢治・作）」で、音楽を流しながら語りました。また「論語」にも挑戦しました。クラスごとに好きな論語を選び、パワーポイントで映し出した画像を見ながら論語を語り、その意味を解説しました。日本の伝統芸能がテーマの「祭り（北原白秋・作）」では、地域の太鼓の会の方の太鼓や先生方の篠笛、チャンキキなどのお囃子を入れながら語りました。



全校児童による体育館での群読風景

今年は、世界を知ろうをテーマに「雨ニモマケズ（宮澤賢治・作）」を英語版と日本語版で語りました。英語の堪能な保護者の方に英訳を依頼し、各学年への指導もしていただきました。

「雨ニモマケズ」は、日本の震災復興を願って世界中で語られた素晴らしい作品であることを全校に伝え練習に取り組みました。これからも良い作品をみんなで語り、群読を楽しんでいきたいと思ひます。

市川市立福栄小学校 学校司書 牛尾 直枝

特別活動「学級活動(2)学校図書館の利用」稲荷木小学校

稲荷木小学校では、2年生の特別活動の時間に、子どもたちの読書の幅を広げるために「よりよい本の読み方を考えよう」の授業が行われました。「虫・恐竜・自動車・なぞなぞ」をテーマに、学校図書館員がブックトークを行い、子どもたちはいつも探している本棚ではない場所にも、自分の興味に合った図書が置いてあることを知りました。低学年のうちから様々な分野の図書に触れさせることで読書の世界が広がり、子どもたちは多くの情報を得ることができるようになります。学級担任と学校司書・学校図書館員が協力して、子どもたちの読書の世界を広げる工夫をしていただきたいと思います。



【お知らせ】

文部科学省では、今年度「学校図書館担当職員の役割及びその資質の向上に関する調査研究協力者会議」を7回にわたって開催しています。現在、文部科学省のホームページ上に会議の資料が配信されています。その中には「学校図書館の位置付け（機能）について」や「学校図書館の利活用の意義について」「学校図書館担当職員の担うべき役割・職務について」「学校図書館担当職員の質の確保を図るための方策について」の案が掲載されています。ネットワーク会議でもお話ししましたが、学校図書館担当とは、司書教諭と学校司書、学校図書館員を指しています。

お時間のある時に、ぜひ一度目を通していただき、これからの学校図書館の活用及び運営の在り方について考える指針にいただけたらと思います。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4

TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352

<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

